

CITIZEN Text Only ドライバー

数々の旧モデルを新しいWindowsで使いたいという要望が多く寄せられるため、Windowsに同梱されているGeneric / Text Onlyドライバーをベースに多くのプリンターに対応できるよう、作成したドライバーです。グラフィック印刷はできず、行単位のテキストの印刷に限定されます。プリンターの付加機能には、ユーザーの設定によりいろいろ対応できるようになっています。

以下は主な仕様です。

サポートOS

Windows Xp
Windows Vista (x86 / x64)
Windows 7 (x86 / x64)
Windows 8 (x86 / x64)

用紙サイズ

"Receipt length 3276mm"	20.9cm × 327.6cm
"6 inches length"	20.9cm × 15.2cm
"A4 length"	20.9cm × 29.6cm
"LETTER length"	20.9cm × 27.9cm

用紙タイプ

"Receipt"	可変用紙長
"Ticket"	固定用紙長

デバイスフォント

"Device Font A"	A4幅(20.9cm)で、CodePage US ANSI (1252)選択 10ポイント設定時、99文字／行出力可能
"Device Font B"	A4幅(20.9cm)で、CodePage US ANSI (1252)選択 10ポイント設定時、99文字／行出力可能
"Device Font C"	A4幅(20.9cm)で、CodePage US ANSI (1252)選択 10ポイント設定時、99文字／行出力可能

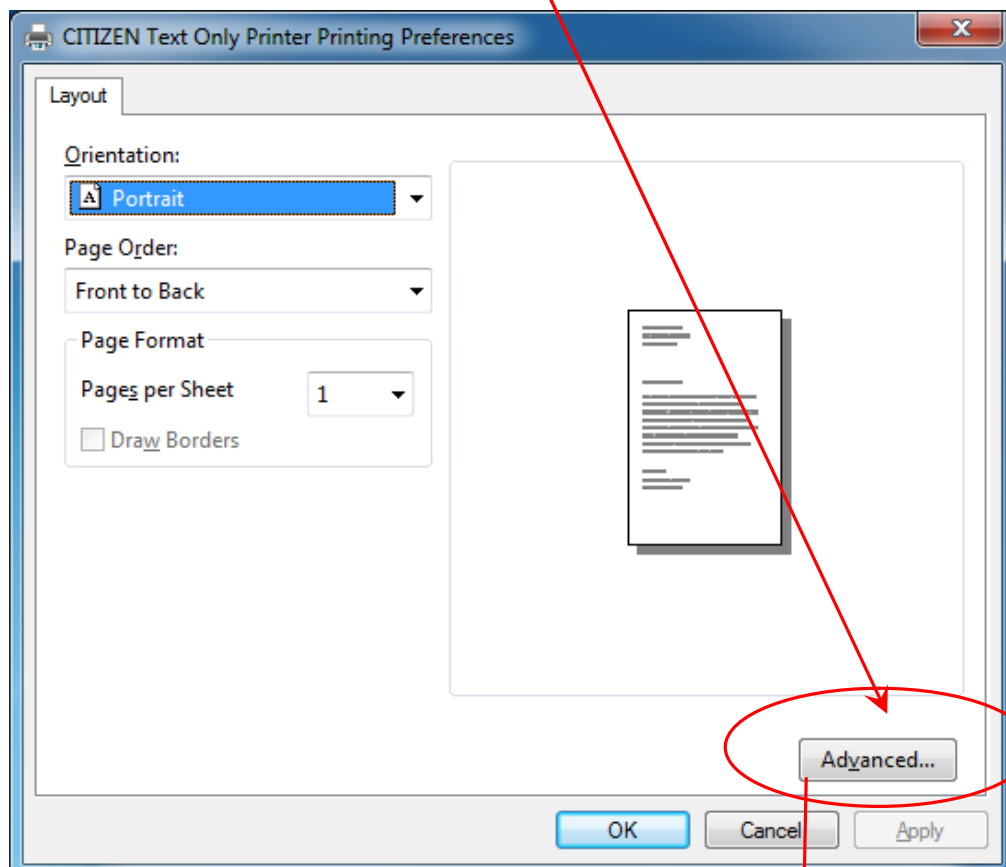
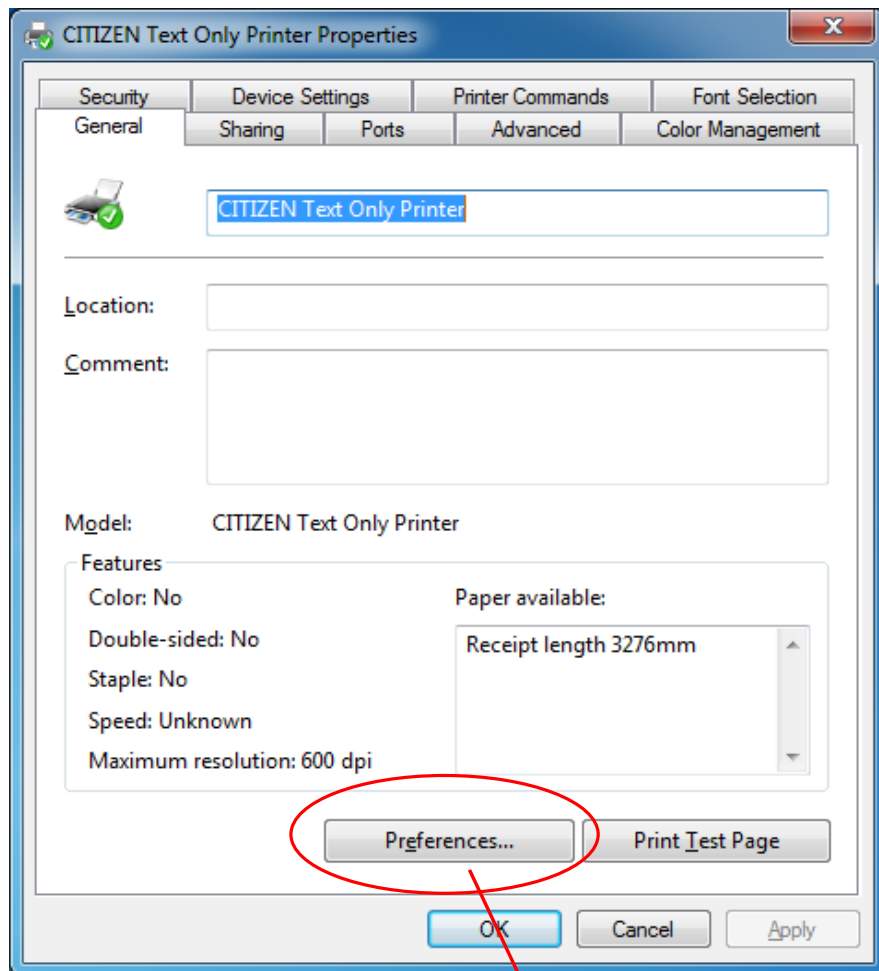
※フォントサイズは10

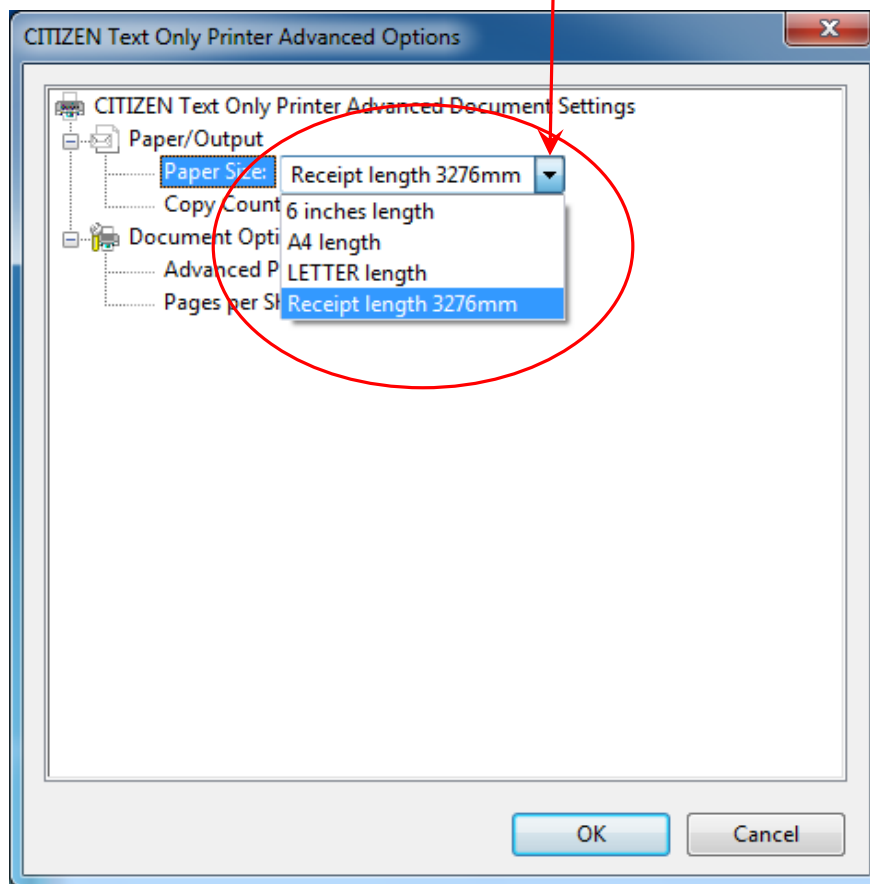
プリンタコマンドイベント

"Begin Print Job"
"End Print Job"
"Begin Print Page"
"End Print Page"
"Paper Size Select"
※入力欄は100文字まで

プリンタフォント設定

デバイスフォントと関連付けて使用
"Select Font A"
"Select Font B"
"Select Font C"
"Bold On"
"Bold Off"
※入力欄は100文字まで

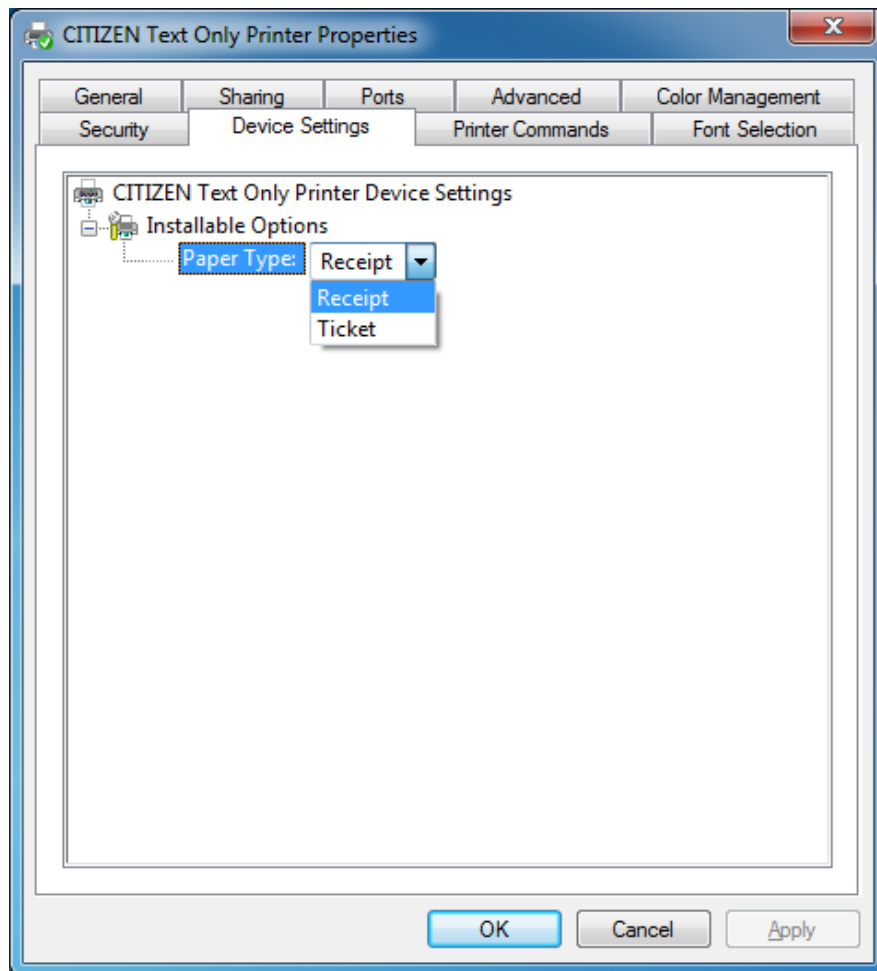




用紙サイズ：デフォルト設定は“Receipt length 3276mm”
横幅は全て20.9cm（A4用紙幅）

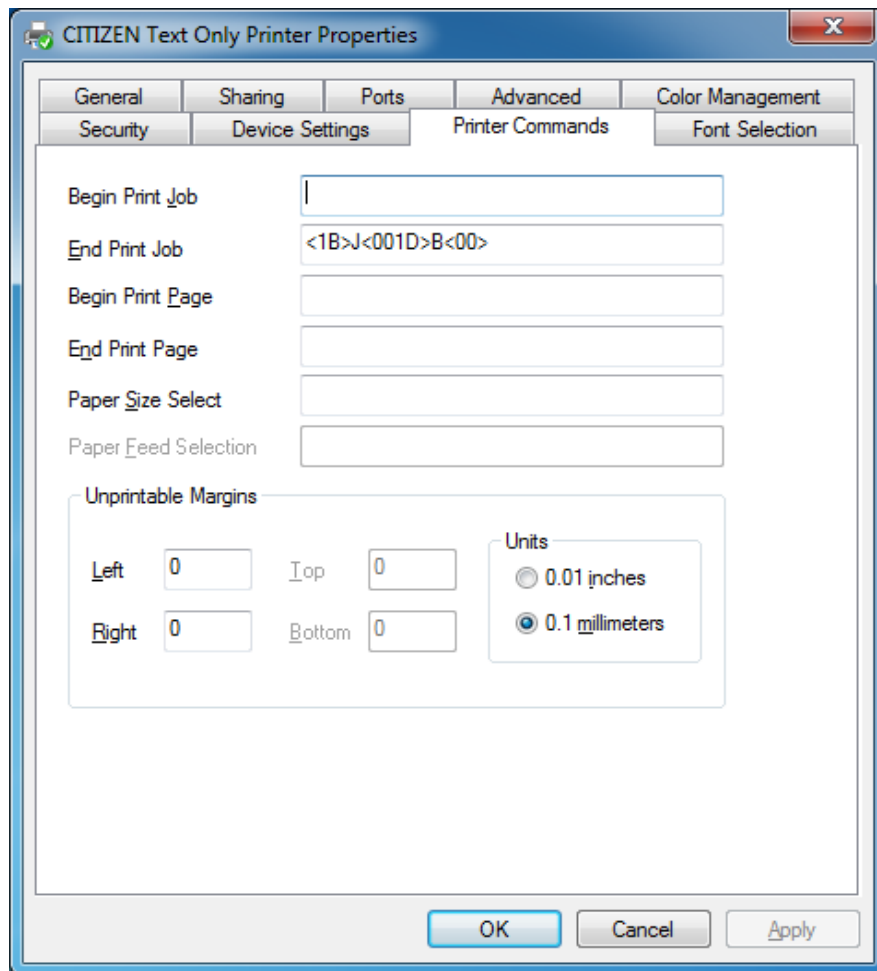
“Receipt length 3276mm”	→ 20.9cm × 327.6cm
“6 inches length”	→ 20.9cm × 15.2cm
“A4 length”	→ 20.9cm × 29.6cm
“LETTER length”	→ 20.9cm × 27.9cm

※上下左右余白全て0



用紙可変長設定 : デフォルト設定は “Receipt”

- “Receipt” → 印刷データの終わりで紙送りが自動的に止まります
- “Ticket” → 印刷データが途中で終わっても、設定用紙長さ分の紙送りを行います



イベント挿入コマンドについて

印刷の各イベントのタイミングにおいて、任意のエスケープシーケンスコマンドを出力する事が可能です。

- ・アスキーコード、または16進数が代入出来ます。
- ・ESCコードなら<1B>、'A'なら'A'または<41>のように記述して下さい。'<'自体は<31>と記述します。
- ・100バイト入力可能です。

イベントが発生するタイミング

<Begin Print Job>
<Paper Size Select>
<Begin Print Page>

1 page

<End Print Page>
<Begin Print Page>

2 page

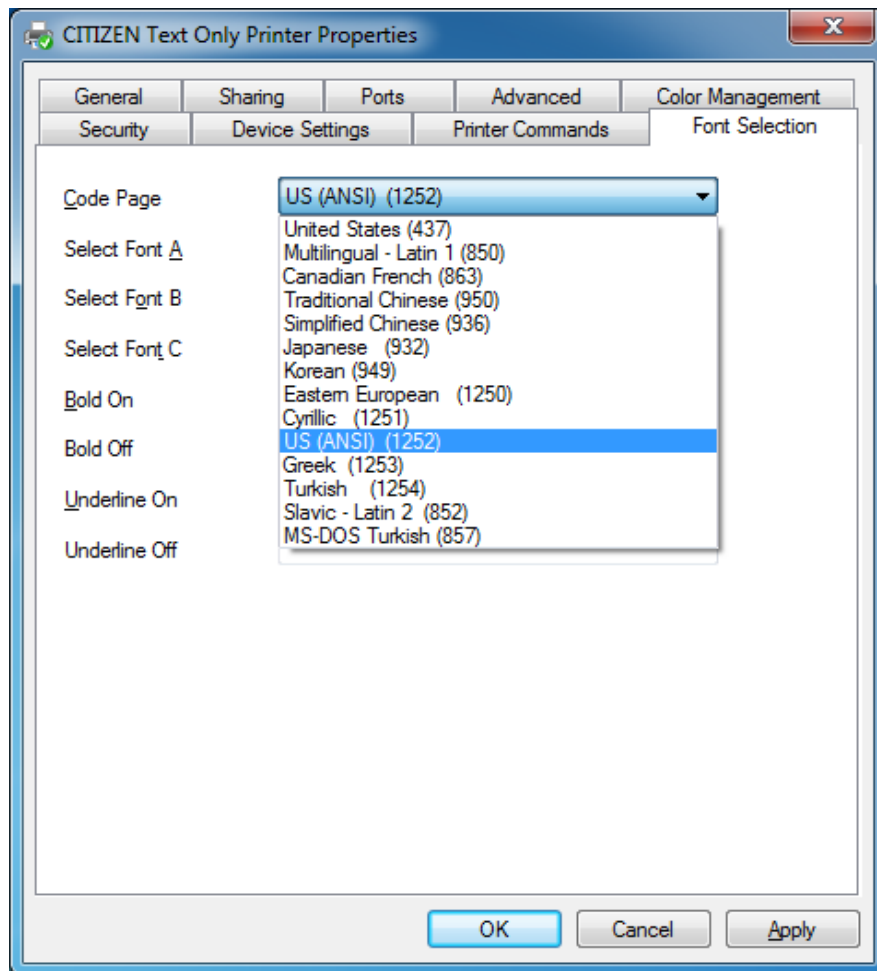
<End Print Page>
<Begin Print Page>

3 page

<End Print Page>
<End Print Job>

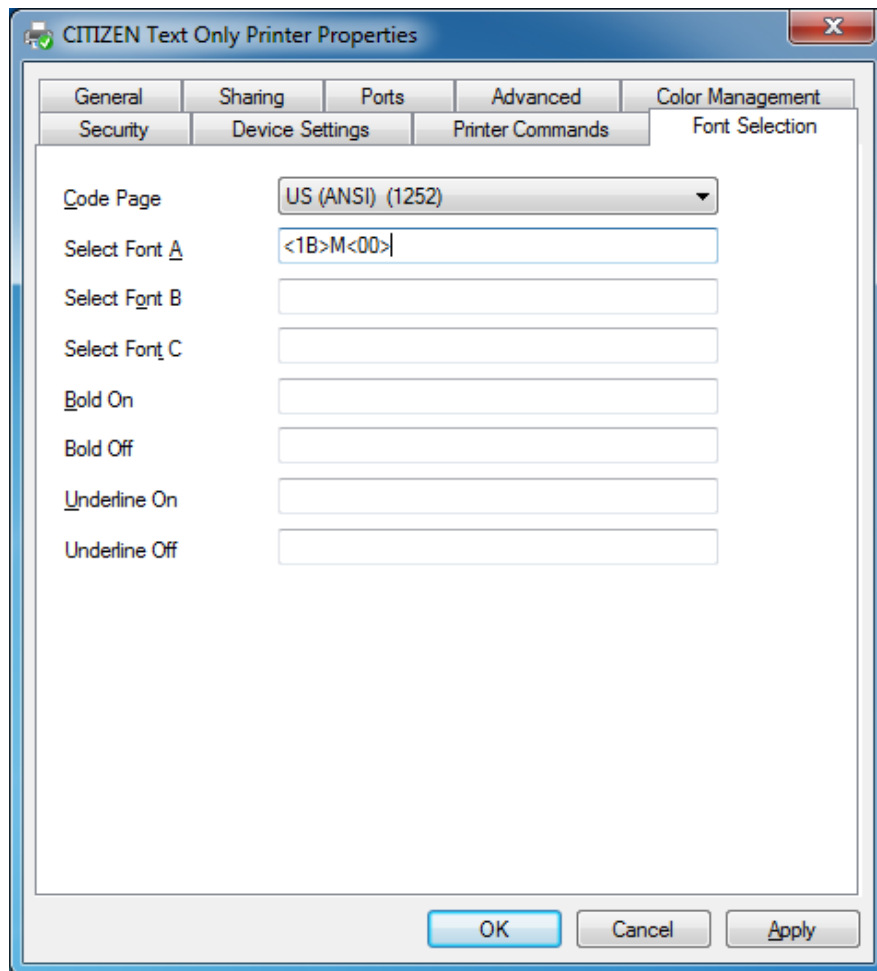
非印刷マージン(Unprintable Margins)設定について

- ・左右のみマージンを設定出来ます。
- ・この領域内の文字はドライバー側が削除します
- ・ここで設定した領域はアプリケーション側へ反映される物ではありませんので、ご注意ください。



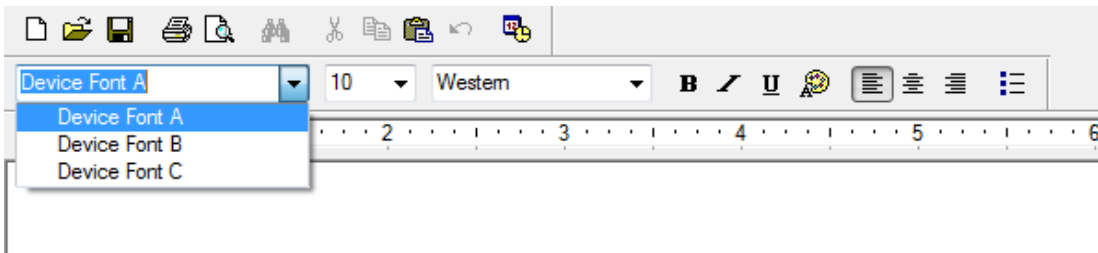
コードページについて

- ・デフォルト設定は“US(ANSI) (1252)”です。
- ・日本語の漢字を出力するには、“Japanese (936)”を選択して下さい。



フォント選択コマンドについて

- ・デバイスフォント選択時に送信するコマンドを指定出来ます。



- ・デバイスフォントは“Device Font A”、“Device Font B”、“Device Font C”の3種類選べ
フォントサイズは10となっています。
- ・アプリケーションや、VCまたはVB等プログラミングから上記のデバイスフォントを選択した時に、
任意のエスケープシーケンスコマンドを指定出来ます。
- ・“Device Font A” → “Select Font A”欄へ対応しています。
- ・“Device Font B” → “Select Font B”欄へ対応しています。
- ・“Device Font C” → “Select Font C”欄へ対応しています。
- ・太字選択／解除も指定可能です。
- ・アンダーラインについては現在のGDIの仕様では正しく機能しないので、利用しても効果が出ません。
- ・アスキーコード、または16進数が代入出来ます。
- ・ESCコードなら<1B>、'A'なら'A'または<41>のように記述して下さい。'<'自体は<31>と記述します。
- ・100バイト入力可能です。